

乳幼児健診に使用する部屋の整備と 既存機器の有効利用

平山義人*，加我牧子**，有馬正高*

要約：先に我々は保健所に勤務中の医師・保健婦の協力を得て、保健所で行っている乳幼児健診時に使用している器機および今後望まれる器機につき調査し、各保健所で使用中の器機の種類には大差がないこと、優れた器機があっても扱いの難かしさや人手の問題を考慮すると、簡単に使える器機でなければ開発しても実用にならないことを知らされた。今年度は本研究の最終年度であるため、乳幼児健診に使用する部屋の整備と既存の器機の有効利用を中心に検討した。

見出し語：保健所整備、プレールーム、育児用品、電話相談室、貸し出し制度

1. 乳幼児健診に使用する部屋の整備

①1次健診は、2～3名の医師が同じ部屋の中で同時に行っている所が多いが、順番を待つ乳幼児が同室させることにより室内が非常に喧騒となり、心臓雑音を聞きそびれるのではないかと不安を感じることもある。一人の医師に一室とはいかないまでも、隣で検診を行う医師との間にはしっかりした隔離壁をもうけるべきである。

②乳幼児の知能や運動能力を正確に把握するためには、自宅で生活している時と同じように自由に活動している場面を観察することが不可欠であるが、床が剥き出しのためその上に乳幼児を寝かせたり座らせることができず、狭いベット上だけで診察せざるをえない保健

所がある。特に精密健診あるいは発達健診と呼ばれる2次健診に使用される診察室の床は、健診時だけでもジュタンやカーペットなどを敷き、薄着のままの乳幼児が床の上を自由に動き回れるように整備すべきである。

③リハビリテーションスタッフによる発達遅滞児への指導は、医師が2次健診を行っている部屋の中で、医師の診察と平行してを行われていることが多いが、訓練指導中にバランスを崩し大きな音をたてて床に頭を打ち付けた時など、母親の冷たい目にさらされ当惑させられることがある。リハビリテーション指導に使う一画は、ジュタンやカーペットの下にさらにスポンジマット(セラピーマット)を敷きその上で訓練をするなど、不慮の事故に

* 国立精神・神経センター 武蔵病院

** 同 精神保健研究所

備えるべきである。

Ⅱ. プレールームの設置：ほとんどの保健所では、子供が待ち時間を楽しく過ごせる空間が用意されていない。健康な子供はじっとしていないのが当然であるから、健康児とのかかわりの深い保健所にはプレールームを備え、待ち時間は思う存分動き回れるようにしてあげたい。

Ⅲ. 育児用品展示コーナーの開設：初めて育児を経験する母親にとって、育児用品に対する関心は非常に強いものと思われるが、実物を手にとって見る事ができる機会は少ないようで、コマシャリズムに乗らない育児用品についてはほとんど無知のようである。一方、医師や保健婦が育児相談を行うとき、育児用品について説明したいと思っても、実物が身近にないため十分に理解してもらえないという経験を持つものも少なくない。これらの解決策として、哺乳びん、粉ミルク、乳児用かんずめ、食器、消毒薬、紙オムツなどの育児用品、育児書の展示コーナーを設け、利用出来るようにしたらよいであろう。希望者にはパンフレットの配布などを含めて展示物に関する情報提供ができるようにすればさらに役立つものと思われる。母子保健という面からはなれるが、家庭で使える老人介助用品の展示も同時に行えば、さらにそのスペースを有効に使い、広く住民サービスにも貢献するであろう。なお育児用品や老人介助用品などは、年々改良されたり新しい製品が開発されるため、新規購入のための予算措置も考えておいたほうが良いであろう。

Ⅳ. 保健婦のための医療電話相談室の開設：家庭訪問の際あるいは電話での乳幼児医療に関する質問の中には、医師のレベルでないと答えられない質問も多く、特に緊急に答えを出さなくてはならない時には対応に困るとの意見が多くの保健婦から聞かれる。経験を積んだ小児科医による保健婦のための乳幼児医療問題電話相談室を開設すれば、ニードは非常に高いものと思われる。

Ⅴ. リハビリテーション器具およびビデオテープの貸し出し制度の確立：リハビリテーションスタッフによる発達指導には、三角マットやローラーの使用が欠かせないが、これらの器具が備えられていない保健所もあり、また備えられていたとしても、家庭に無い器具を使っただけの指導では実行できないので意味がないと思われる。保健所レベルでの指導対象児は単純な発達遅滞が多く、三角マットやローラーを使っただけの家庭内訓練の期間が長くなることは少ないため、これらの器具の購入を勧めるわけにもゆかない。それ故、保健所に何組かこれらの器具を備えておき、家庭での訓練が必要と思われる乳幼児に貸し出せるようにすれば効果的であろう。

一方では、リハビリテーションスタッフによる家庭での訓練課題を覚えきれないで悩んでいる保護者が経験される。この傾向は初めて問題を指摘され、動揺した初産婦に多かった。この解決策として、各保健所にビデオ撮影装置を備えて置き、実際の指導場面をビデオに収め、家に帰ってから見直しが出来るように撮影したテープを貸し出せば良い効果が挙がるものと思われる。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:先に我々は保健所に勤務中の医師・保健婦の協力を得て、保健所で行っている乳幼児健診時に使用している器機および今後望まれる器機につき調査し、各保健所で使用中の器機の種類には大差がないこと、優れた器機があっても扱いの難かしさや人手の問題を考慮すると、簡単に使える器機でなければ開発しても実用にならないことを知らされた。今年度は本研究の最終年度であるため、乳幼児健診に使用する部屋の整備と既存の器機の有効利用を中心に検討した。